あたたかく　やさしく　人にも　地球にも

Kawakita Medical Foundation

GUIDE

Kawakita Health Support Network

● 杉並エリア　■ 多摩・稲城エリア

● 河北総合病院

1928年病床数30床でスタートし、現在331床の総合病院として地域の診療所や介護施設等との連携を確立。救急拠点病院、地域医療支援病院として高度な急性期医療を提供。臨床研修病院として人財教育にも力を注ぐ。

● 河北総合病院 分院

内科・心療科・呼吸器系・腎臓・膠原病系・血液内科の外来診療や専門病棟を有する。

● 河北サテライトクリニック

外来診療を通じて、地域の方々へ安心かつシームレスな医療を提供。

● 河北健診クリニック

健診・人間ドックの専門機関。スムーズで快適な健診と充実したアフターフォロー。女性に優しいクリニック。

● 事業所内保育事業

かわきたおひさま保育所
開所：2018年4月

● 介護老人保健施設 シーダ・ウォーク

個人の尊重と在宅生活復帰への支援を優先に考え、家庭的な雰囲気の中でケアを提供。

● 河北居宅介護支援事業所南阿佐谷

- ■ あい介護老人保健施設
- ■ あいグループホーム天の川
- ■ あいグループホームどんぐり
- ■ あい看護小規模多機能施設ほたる
- ■ あい小規模多機能施設かりん
- ■ あい小規模多機能施設おきな(サテライト)
- ■ あい小規模多機能施設こもれび
- ■ あいフィットネスサロンさくら

● 提携施設
医療法人社団 三成会 河北前田病院

● 河北リハビリテーション病院

回復期リハビリテーションの専門病院として、地域の医療機関や医師会などと連携し、退院後も視野に入れた優しいサポートを提供。

■ 天本病院

1980年、多摩市貝取に設立。高齢者医療・ケアに取り組み、地域の在宅療養を支援。

● 河北透析クリニック

透析専門施設「河北葦クリニック」から2018年3月、「河北透析クリニック」として新規開設。

● 河北ファミリークリニック南阿佐谷

2019年3月新規開業。診療科にとらわれず、身近な存在としての医師、家庭医（プライマリ・ケア医）として家庭医療を提供。

● 河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷

在宅での医療サービスを通して地域の皆さんを支援し、「ともに創り上げる医療・ケア」を実現。

● 杉並区委託事業 地域包括支援センター
（ケア24阿佐谷・ケア24松ノ木）

■ 多摩市委託事業

多摩市中部地域包括支援センター
多摩市中部高齢者見守り相談窓口
桜ヶ丘いきいき元気センター

- ■ あいクリニック
- ■ あいクリニック中沢
- ■ あいクリニック平尾
- ■ あい訪問看護ステーション
- ■ あい訪問看護ステーション平尾
- ■ あい訪問看護ステーション中沢
- ■ ケアプランセンターあいクリニック
- ■ ケアプランセンターあいクリニック平尾
- ■ ケアプランセンターあいクリニック中沢

理念と目的

理　念

社会文化を背景とし 地球環境と調和した よりよい医療への挑戦
恕（おもいやり）・信頼

目　的

質の高い恕（おもいやり）のある医療を行うとともに地域の健康向上に寄与する
最終確定診断ができる病院　第一級の臨床研修教育

標　語

WHAT思考:社会病理
Balance:基軸
究めていよいよ遠く
あたたかく　やさしく　人にも　地球にも
安心と納得が創る信頼
受容　傾聴　共感
学び（心で感じ）　考え　行う
NKFarm
もったいない、我慢する、面倒くさがらない
小学5年生
医療は氷山
病院ってかっこいい
確立された医療を確実に行う
情緒的で色っぽい医療を
実態と表現
人が育ち、自らが考え、皆で実現する
気配　六感を研ぎ澄ます
　磨けば輝く　打てば響く　雰囲気が薫る
　味わいのある情　心が温かい　知恵・見識・自然
待たされ感の解消
人間の復権
Management:継続して社会価値を創造し続けること
より良き社会をつくる(Peter Ferdinand Drucker)
trained common sense
人間の尊厳:その人らしいこと
徳育・体育・知育
事前調整から結果責任へ

方　針

1. ・‘地域の人の期待’ に応える医療の確立（権利と責任）
　・疾病治療と健康生活支援
2. 教育（医学水準の向上）
3. 職員の働き甲斐の向上をはかる（ライフサイエンス）
4. 健全経営
5. 地球環境保全

ご　挨　拶

河北医療財団は1928年に内科・小児科30ベッドの河北病院として誕生しました。
今日に至るまで継続して地域医療の視点を持ち、最終確定診断ができる病院であり、
第一級の臨床研修教育を担い、地域の健康生活を支援することを
河北の中心に置いてきました。

財団の二代目の理事長であった河北恵文が愛句としていたのが「恕（おもいやり）」です。
この言葉は、孔子が「参か、吾が道は一以て之を貫く」といわれたことに、門人が曽子にこれはどういう意味かと訊ねました。
曽子がそれに対して「夫子之道、忠恕而已矣」と答えています。あの方の道は忠恕のみ。
朱子は、「己をつくす、これを忠といい、己をおす、これを恕という」と解釈しています。
忠は忠実、本当に心の誠から、恕は思いやりです。
自分が嫌なことは人もいやだろうと、自分の心を以って人を思いやる、それが恕です。
曽子は孔子が、忠恕ということで終始一貫していると門人たちに説いたのです。
より簡潔な別の説明では、「この一字さえ大切にまもるなら、死ぬまで正しく生きられる、という字を教えてください」と訊ねると、孔子は「それは恕という字だよ」と答えました。
この恕という字の意味は、「いつも相手の立場に立ってものごとを考える。やさしさ、思いやりのことだ」といわれています。
ちなみに「忠」は昔のような主人に対するロイヤリティーのことではなく、まごころをつくすことだと説明されています。

杉並区は人口57万人、潜在的に非常に多くの医療への需要がある地域です。
当財団はこの杉並区を中心に、地域医療を継続的で、個別的なケアが受けられるよう考えてきました。
これは全国の250分の1であり、都市型のモデルを全国に発信したいと努力しています。
我々の事業は医療、福祉、介護を担い、人に寄り添うことです。患者さんあるいはご家族の皆さん、そして地域の人たちに対し、その個人個人の尊厳を大切にし、生活に寄り添っていきたいと考えることは当然の使命です。
一方、財団に働く職員にとって前述した「恕」を広げていくことが大切だと思います。
7年後の100周年に向かって「恕」という言葉をどこまで職員に対し、また職員間で満たすことができるか、
これからの主題にしたいと考えています。

社会医療法人 河北医療財団 理事長　河北 博文

医学博士 MBA（経営修士）

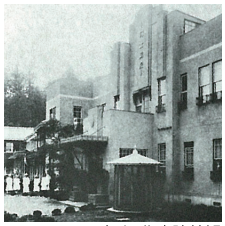
■専門分野／医療政策・医療機能評価
■医療機能の第三者評価のしくみとして現公益財団法人日本医療機能評価機構を設立する。諸病院協会の役員活動と内閣府・厚生労働省議会等の委員を歴任し、長年、医療政策に携わっている。
■略歴
1977年3月 慶應義塾大学医学部卒業
1983年8月 シカゴ大学大学院ビジネススクール修了
1984年3月 慶應義塾大学医学部大学院博士課程修了（病理学）
1988年10月～ 社会医療法人 河北医療財団 理事長
1991年10月～ 東京大学医学部 講師
2000年10月～ 京都大学大学院 医学研究科 講師
2005年4月～ 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 講師
2016年6月～ 公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事長同 評議員・理事・代表理事・副理事長兼専務理事（1995年8月～）
2019年6月～ 一般社団法人 東京都病院協会 名誉会長
■所属学会／日本病院管理学会・日本小児救急医学会・日本総合病院精神医学会
■受賞／2006年2月 渋沢栄一賞受賞
■著書／2014年7月「生きづらさの処方箋」（幻冬舎）

沿革

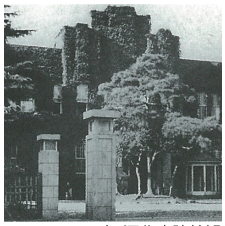
1928-1948	河北真太郎が河北病院（内科、小児科／病床数30床）を開設、インターン教育研修開始
1950	医療法人財団　河北病院改組（職員数106名、病床数161床）　河北真太郎が理事長に就任
1952	河北恵文が第２代理事長に就任　河北真太郎逝去（1953）
1957	総合病院認可取得（職員数167名、病床数263床）、61年病床数275床
1965	特定医療法人　河北総合病院（職員数262名、病床数310床）
1971	70年383床（内結核病棟28床）、人工透析室運営開始、付属高等看護学院開設（22名）
1973	河北恵文逝去 南部鎮雄が第3代理事長に就任
1974	377床（内結核病棟28床）、75年結核病棟閉鎖のため病床数357床、76年352床
1978（50周年）	医療法人財団　河北総合病院に改称
1980	人工透析を独立した診療所として開設、河北総合病院看護専門学校と改称
1981	往診をシステム化した在宅患者サービス（T.H.H.S）を開始
1982	広報誌「かわぴたる」創刊
1983	南部鎮雄逝去　平福一郎が第4代理事長に就任、医事業務をコンピュータ化
1986	杉並地域医療システムズ（SRHS）スタート
1988	河北博文が第5代理事長に就任、臨床研修病院の指定を受ける
1990	河北健診クリニック開設
1992	河北葦クリニック（透析）開設
1994	河北杉並訪問看護ステーション開設、在宅介護支援センター「ケア24阿佐谷」開所
1998	環境マネジメントシステムISO14001認証→KES（環境マネジメントシステム・スタンダード）step2へ継続 （財）医療機能評価機構認定取得（河北総合病院）
2000	長野県蓼科に職員研修施設「N.K.Farm」開設
2001	河北リハビリテーション病院開設
2003	プライバシーマーク認証取得（2015年5月更新終了）
2004	河北総合病院分院開設、河北サテライトクリニック開設、介護老人保健施設シーダ・ウォーク開設
2005	医療法人初の社債発行、救急医療センター（ER）稼動
2006	地域医療支援病院承認（河北総合病院）、（財）医療機能評価機構リハビリ付加機能認定（河北リハビリテーション病院）、東京・杉並家庭医療学センター開設
2007	日本がん治療認定機構認定研修施設認定、東京都看護職員地域就業支援病院指定
2008	心臓・血管センター、脳卒中センター開設（河北総合病院）
2009	東京都脳卒中急性期医療機関認定、こども医療センター開設（河北総合病院）
2010	日本救急医学会救急科専門医指定施設認定（河北総合病院）、合同慰霊祭（於:神明宮）、 リウマチ・関節センター開設、社会医療法人 河北医療財団に改組
2011	「心のケアセンター」始動、河北プラチナカード（産科）発行
2012	東京都大腸がん診療連携協力病院、リウマチ・関節センターからリウマチ・関節・膠原病センターに改称（河北総合病院）、日本政策投資銀行「DBJビジョナリーホスピタル」認定
2013	河北救急車稼働開始、マタニティー・レディース スクエア開設（河北総合病院）、 The Rehabilitation Hospital or the Pacific（ホノルル）と提携（河北リハビリテーション病院）
2014	入退院支援センター開設（河北総合病院）、東京杉並家庭医療学センターから河北家庭医療学センターへ改称、まちづくり団体「阿佐ヶ谷駅北東地区を考える会」設立
2015	標榜科目31科へ変更（河北総合病院）、標榜科目19科へ変更（河北総合病院分院）
2016	環境MGMT委員会「環境人づくり企業大賞2015」環境大臣賞受賞、河北バス 運行開始 医療法人財団 天翁会と統合合併
2017	標榜科目33科へ変更（河北総合病院）、看護師に係る特定行為研修開始（河北総合病院）、 総務省「クラウド型EHR高度化事業」に参画
2018	標榜科目35科へ変更（河北総合病院）、河北透析クリニック開設
2019	河北ファミリークリニック南阿佐谷開設、標榜科目36科へ変更（河北総合病院）、標榜科目15科へ変更（河北総合病院分院）、ケアプランセンターあいクリニック平尾開設（多摩事業部）、あい小規模多機能施設こもれび開設（多摩事業部）
2020	新型コロナウイルス感染症対応（河北総合病院・分院）、あい看護小規模多機能施設ほたる開設（多摩事業部）、河北居宅介護支援事業所開設、標榜科目37科へ変更（河北総合病院）

2009-2020　病院学会 ～地域の人と考える～ around杉並健康ライフ
2012-2016　東京マラソンチャリティランナー、2017新宿ハーフマラソンチャリティランナー 参加

第1代理事長 河北真太郎


1929年 河北病院外観

第2代理事長 河北恵文


1957年 河北病院外観

1962年 外来廊下

第3代理事長 南部鎮雄

第4代理事長 平福一郎

第5代理事長 河北博文

河北総合病院

https://kawakita.or.jp/suginami-area/kgh/

臨床研修病院
地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定

よりいっそう地域に根ざした病院をめざしていきます。

院長
杉村 洋一

筑波大学卒業

・日本循環器学会専門医
・日本内科学会指導医
・日本内科学会総合内科専門医
・日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医
・身体障害者福祉法指定医（心臓）

2020年から始まった新型コロナウイルスとの戦いは、なかなか収束する気配がありません。現在では、ほとんどが感染力の強いデルタ株に置き換わり、20～50歳代でも重症化する人たちが出てきています。当院では、新館4階と分院2階・3階の3つの病棟をCOVID専用病棟にし、3病棟で計101床あった一般のベッドをHCU4床を含むCOVID専用病床43床に変更して対応してきました。しかし都内の感染者は増え続け、杉並区でも自宅待機者があふれています。そこで2021年8月30日より、本館5階病棟の40床を12床のCOVID専用病床として運用を開始しました。これでCOVID専用病床は計55床になりました。コロナ診療でもっとも大切なのはもちろん人の力です。多くの医師、看護師、コメディカルの人たちが必死の覚悟で頑張っています。2021年１月の大規模クラスター発生を経て、わたしたちは多くの経験、教訓を得ることができました。この経験を活かして、患者さんたちの健康、自分たちの健康を守っていきたいと思います。また当院は、区内で唯一コロナ専門の小児病床を立ち上げ、区内あるいは区外からの小児のコロナ患者さんを多数受け入れています。最近子供たちの感染が大きな問題となっており、小児のコロナ診療も頑張っていきたいと思います。5月より地域の先生方と協力して、一般の方対象のワクチン接種の対応にあたっており、阿佐谷特設会場で毎日200～500人の方にワクチン接種をおこなっています。少しでも早く希望者全員にワクチン接種がおこなえるように続けていきたいと思っています。

さて一方、当院では今年も地域連携を強化し、入院治療、なかでも外科的治療と血管内治療に重きをおいて診療をおこなってまいります。消化器外科、脳神経外科、整形外科、そして循環器内科に新たなスタッフドクターが加わりました。特に脳神経外科は4人体制となり、これまで以上に緊急の対応が可能となりました。昨年以上により多くの、そしてより高度な手術および血管内治療を施行させていただきますのでよろしくお願いいたします。また、産科医療、小児科医療にも今まで以上に力を入れていきます。特に周産期医療の大家の先生にも加わっていただき、積極的な産科医療をおこなっていきたいと思っています。
そして外来患者さんを地域の先生におまかせする方針を継続していきます。軽症の初診患者さんにはまず地域のクリニックを受診していただき、病院受診が必要な患者さんを当院に紹介していただくという流れをよりいっそう着実なものにしていきたいと考えています。

河北総合病院

■所在地／〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-7-3 TEL：03-3339-2121（代） ■創立／1928年5月 ■院長／杉村 洋一 ■許可病床数／331床 ■標榜科目／内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、リウマチ科、リハビリテーション科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科、皮膚科、放射線科、麻酔科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、消化器外科、病理診断科、臨床検査科、救急科、感染症内科、血液内科、疼痛緩和内科、精神科、産科、婦人科、血管外科、形成外科、美容外科、乳腺外科、脳血管内科、小児アレルギー科 ■施設認定／●日本医療機能評価機構認定病院●基幹型臨床研修病院●地域医療支援病院●救急告示病院（救急病院等を定める省令第２条）●東京都指定二次救急医療機関●東京都ＣＣＵネットワーク加盟●東京都脳卒中急性期医療機関●東京都がん診療連携協力病院 （大腸がん）●指定居宅介護支援事業者●指定居宅サービス(訪問看護)●東京都神経難病医療ネットワーク協力病院指定●東京都医療機器安全性情報ネットワーク事業参画医療機関●日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医関連認定施設●労災保険指定医療機関●生活保護法指定医療機関●ＤＰＣ対象病院●訪問リハビリテーション●介護予防訪問リハビリテーション●産科医療補償制度

河北総合病院 分院　臨床研修病院　https://kawakita.or.jp/suginami-area/kgh-b/

地域に根ざした病院として

私は東京女子医大呼吸器内科を経て、2004年より河北総合病院分院での勤務を開始いたしました。2006年からは、河北総合病院分院副院長として、「患者さんの身体だけでなく、ご家族の気持ちにも寄り添った治療の実践」を心に留めながら、地域の皆さまの健康に貢献すべく、患者さん、ご家族の方々、スタッフと一緒に歩んでまいりました。このたびの分院院長就任を機に初心を思い出し、下記3点を通じて、「地域に皆さまに寄り添う」医療を実現いたします。

1. 患者さんが納得できる医療がおこなわれるために、患者さん、ご家族、スタッフとの対話を絶やさず、患者さんの立場に立ち、その意志を尊重した質の高い全人的医療をご提供します。
2. 患者さん、ご家族の積極的な治療参加を歓迎いたします。
3. 安全・安心な医療、標準化された（エビデンスに基づいた）治療をご提供するため、スタッフの教育を充実させ、情報の共有化を図り、連携の取れたチーム医療を構築してまいります。

院長
呼吸器内科部長
角田 裕美

東京女子医科大学卒業
・日本内科学会指導医
・日本内科学会総合内科専門医
・日本呼吸器学会指導医
・日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医

呼吸器系、腎臓、膠原病系の専門病棟を有する分院

分院は、2004年3月に開院し、内科、心療科の外来診療と呼吸器系、腎臓・膠原病系の2つの専門病棟を有しております。外来、入院ともにゆとりのある療養環境を提供し、外来においてはBGMの音楽が流れる中、ゆったりと診察を待つことができ、病棟においては、広々としたデイルームでお見舞いのご家族との団欒の時を持つことができます。
癒しの場ともなるゆとりのある療養環境とおもいやりのあるスタッフに囲まれ、呼吸器系、腎臓・膠原病系の優れた専門医の治療を受けることができ、さらに隣接する河北総合病院との連携のもと、いつでも安心して安全な医療が受けられます。

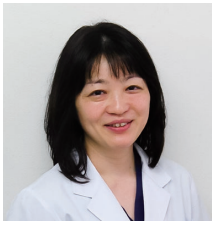
河北総合病院 分院

■所在地／〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-6-20 TEL：03-3339-0606（代）　■創立／2004年3月　■院長／角田 裕美　■許可病床数／一般病床　76床　■標榜科目／内科、皮膚科、精神科、リハビリテーション科、放射線科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、感染症内科、血液内科、リウマチ科、アレルギー科　■施設認定／協力型臨床研修病院

河北サテライトクリニック　https://kawakita.or.jp/suginami-area/ksc/

河北総合病院ならびに近隣の医療機関と連携し、質の高い医療の提供をおこないます

河北サテライトクリニックでは、眼科、フットケア、小児科専門外来の診療をおこなっております。
2020年、新型コロナウイルス感染症を経験し、医療機関では様々な場面で新たな工夫や変化が求められました。時代や社会のニーズに合わせて、従来の考え方にとらわれず、柔軟に対応する力が大切であることを、あらためて実感しております。何かを変えていくとき、そこには大きなエネルギーを必要とします。このエネルギーは、医療従事者として、日々の仕事の中で感じる喜びややりがいから育まれるものです。職員皆がそれぞれの立場で専門性や力を発揮していけるような職場環境を大切にし、地域の皆さまに、「河北にきてよかった」と安心していただける質の高い医療を提供できるよう努力していきたいと思います。



院長
小児科科長
鹿島 京子

千葉大学卒業
2020年10月院長就任
・日本小児科学会小児科専門医
・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医（小児科）
・子どものこころ専門医

外来専門のクリニック

外来専門施設として、2004年3月に開院しました。2006年4月には、従来の外来診療科に加え、河北家庭医療学センター（家庭医療科）が開設されました。家庭医療科では、内科疾患を中心とした初診外来や慢性疾患の方の継続的な診療をおこなっておりました。2010年4月からは膠原病・リウマチ科と整形外科が、緊密に連携を図り随時相談しながら、病気の診断と治療にあたっておりました。
2019年7月からは、皮膚科、眼科の外来診療を、2020年8月からは眼科、フットケアの診療に加え、一部小児科の診療・予防接種などをおこなっております。

河北サテライトクリニック

■所在地／〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 TEL：03-3339-0808（代）　■創立／2004年3月　■院長／鹿島 京子　■標榜科目／眼科、皮膚科、内科、小児科

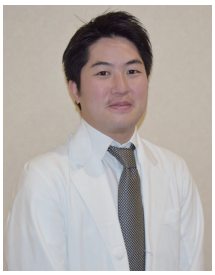
河北リハビリテーション病院

https://kawakita.or.jp/suginami-area/reha/

受付時間　9:00～17:00
（※日・祝日・年末年始は除く）

信頼され続ける地域完結型リハビリテーション医療をめざして

河北リハビリテーション病院は河北医療財団のリハビリテーション部門の拠点として２００１年2月に開設しました。以来、当院は区西部の地域リハビリテーションの中核を担ってまいりました。治療医学の進歩により生命予後は改善しましたが、社会の高齢化に伴い医療情勢は大きく変化しています。疾患や障害を抱えた時に一人ひとりが住み慣れた地域でその人らしい生活を再開し、維持するために何が必要なのか。この問いに対して、我々は専門的なリハビリテーション医療と心のこもった良質なケアを通じてそれぞれの患者さんに最も適した解決策を提案し、その手助けを続けることを使命と考えます。急性期、回復期、生活期の医療機能の分化と深化が進む中、病病連携、病診連携、在宅医療や地域福祉サービスとの結びつきがこれまで以上に求められています。地域完結型のリハビリテーション医療を通じて、地域の医療、介護、福祉をつなぐ要となり地域の方々に信頼され続ける病院となれるよう病院職員一丸となって努力してまいります。



院長
宮村 紘平

東京慈恵会医科大学卒
・日本リハビリテーション医学会
専門医・指導責任者
・義肢装具等適合判定医
・身体障害者福祉法指定医
（肢体不自由、音声・言語障害、
そしゃく機能障害）

理念・目的・方針

理　念

人間の原点を再考し復権を目指す

目　的

質の高い医療を行うことで、
心身機能の回復と新たな生活の実現を図り、
地域の健康向上に寄与する

方　針

1. 地域の人の期待に応えるリハビリテ-ション医療の確立
   - ・地域リハビリテ-ション病院としての機能向上に努める
   - ・患者さんの権利を尊重し 患者さん本位の医療を行う
   - ・高齢化に対応する医療を構築し実践する
2. 高い水準の医療サービスを提供する
3. 職員が働きやすく、働き甲斐のある環境を整備する
4. 健全経営を堅持するために、常に改善に取り組む

河北リハビリテーション病院

■所在地／〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内1-9-27　TEL：03-5307-5151（代）　■開設日／2001年2月　■院長／宮村　紘平　■許可病床数／療養病床　135床■標榜科目／リハビリテーション科、内科、精神科　■施設認定／●協力型臨床研修病院●日本医療機能評価機構認定、同 高度・専門機能 リハビリテーション（回復期）認定　■学会施設認定／日本リハビリテーション医学会研修施設

特長

地域生活の再開を見据えたスペースの活用

当院では退院後の「新しい生活」を見据えながら、当院での入院生活が「生活の場」であるべきと考えています。機能訓練室における個々のリハビリテーション治療はもちろんのこと、病棟、病院内、病院の周辺も含めてリハビリテーション治療の場として活用しています。当院周辺の善福寺川ほとりや大宮八幡神社、方南通りでの歩行訓練や電車やバスなどの公共交通機関を利用した外出訓練など退院後の社会生活に近い環境での屋外訓練を積極的に取り入れています。また、ご自宅の情報を事前に把握し退院後の生活環境に合わせたリハビリテーション治療を実践しています。

個別訓練以外の生活時間を活用

当院では個別リハビリテーション治療以外の余暇時間にも力を入れています。自主トレーニング指導を始め、社会交流の場としてのレクリエーション、ラジオ体操、病棟での家事動作など、患者さんの個別性や家庭背景に合わせたプログラムを工夫しています。時には患者さん自らが講師となり余暇活動を盛り上げていただくこともあります。入院中の集団生活を通じて退院後の社会参加、通所サービスの利用などにスムーズにつながるためにも重要な機会となっています。

在宅生活再開に向けた、手厚い準備とアフターフォロー

当院入院中にご自宅環境の情報を把握し自宅訪問等を通じて生活再開のための環境を整える支援に力を入れております。ケアマネジャーなど地域の支援者の方々とも情報を共有し、環境のみならず支援体制の確認やサービス調整をおこなっています。一日も早く安心、安全に住み慣れた環境に帰ることができるよう手厚い準備を心掛けています。また、当院では独自に退院後家庭訪問を実施しています。入院中にご提案した内容の確認や退院後のご不安などを聴取し、更なる支援の質向上につなげています。

早期退院と地域における継続的な支援体制

退院後の外来診察や訪問リハビリテーションを提供し、地域におけるリハビリテーション体制を支援しています。当院では河北医療財団関連施設と連携し、個々の患者さんの状況に応じた支援をおこなっています。

受付・会計

診察室・待合スペース等

ローソンサテライト

喫茶コーナー

病室

中庭

機能訓練室

機能訓練室

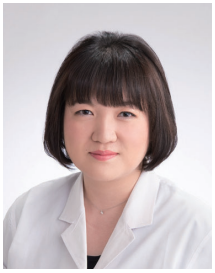
河北透析クリニック

https://kawakita.or.jp/suginami-area/touseki/

受付時間　8:30〜16:30
（※日・祝日・年末年始は除く）

「幸せに生きる」透析を

当院は1971年より透析医療に取り組み、地域の透析患者さんとともに歩んでまいりました。
2018年3月に「河北透析クリニック」として新規開設いたしました。
徹底した水質管理に基づく質の高いオンラインHDF療法をご提供いたします。
年々高齢化する透析患者さんのため、住み慣れた地域で継続して生活できるよう送迎や
院内介助、ケアマネジャーとの連携など生活支援体制を整え、体力低下予防のための食事療法や運動療法など管理栄養士、理学療法士とともに取り組んでおります。
患者さんのプライバシーに配慮し1階には準個室をご用意しております。
自分らしく「幸せに生きる」ことができるよう、私たちは患者さんに寄り添い、ともに対話し、協同し治療をすすめてまいります。



院長
青木 尚子

帝京大学卒業

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本腎臓学会腎臓専門医・指導医
- 日本透析医学会専門医・指導医
- 日本リウマチ学会専門医
- 身体障害者福祉法指定医（腎臓）

合併症の予防・治療

合併症予防には、自己管理が大切です。食事や水分、バスキュラーアクセスなど、ご自身の管理を逐次スタッフがサポートさせていただいております。食事療法は、管理栄養士の個別指導を受けていただくこともできます。バスキュラーアクセスは、エコー検査によるトラブル予防に努めております。また、河北総合病院でのカテーテル治療や手術も可能です。フットケアも定期的におこなっており、皮膚科や末梢血管外来へのご紹介、入院によるカテーテル治療など、必要に応じて集学的治療をご案内しております。専任の理学療法士が透析中の運動・ご自宅での運動療法を支援させていただき、筋力維持に努めております。重大な合併症である心血管系疾患や脳卒中などの緊急疾患に関しては、河北総合病院救急外来と連携し、迅速に対応いたします。

安心・安全な透析治療

ケアマネジャーや医療ソーシャルワーカー、訪問診療・看護・河北家庭医療学センターと連携し、適切な社会資源の利用、生活サポートを提案いたします。また、院内介助スタッフを配置し、無料送迎による通院支援など、ご高齢の患者さんが安心して通院できるクリニックをめざしております。

防災対策として、在宅時の被災に備えて、患者さんへ「防災対策マニュアル」および「緊急時透析患者カード」をご用意しております。感染予防対策として、厚生労働省、各学会の推奨をいち早く確認し、準拠してまいります。

河北透析クリニック

■所在地／〒166-0001　東京都杉並区阿佐谷北1-18-9　TEL：03-3336-2500（代）　■開設日／2018年3月（河北葦クリニック　1992年11月）　■院長／青木　尚子■透析ベッド数／56床（他、隔離対応可2床）1階：準個室12床　2階：パーテーションあり24床・なし20床　■標榜科目／内科　■施設認定／日本透析医学会教育関連施設　■透析装置／逆浸透精製水製造システム2台・透析用剤溶解装置2台・多人数用透析液供給装置2台・透析用監視装置55台・個人用透析装置3台　■1-3階／1階：透析室（準個室）・2階：透析室・3階：待合室（ラウンジ）

彩りのある生活を

日本では現在30万人以上の方が透析を受けておられます。仕事を続け、趣味に勤しみ、日常生活を活き活きと過ごされている方が多くおられます。自分らしい彩りのある生活を続けられるよう、スタッフ一同、患者さんへのおもいやりの心を持ち、個々の患者さんの「幸せ」とは何かを常に考えながら医療をご提供してまいります。

人にやさしい施設

無料送迎や院内介助サービス

介護資格を持つ専門スタッフによる送迎、院内介助をおこなっております。
ヘルパーさんに同乗いただかなくとも問題ありません。

理学療法士による定期的な運動療法

しっかり運動！　寝たきりにならないように、定期的な運動習慣が大切です。
個々の患者さんにあった運動を透析中、透析時間外にうけていただくことができます。

快適な透析環境

体圧分散マット、無風無音の輻射式冷暖房、無料Wi-Fi、TVモニター（有料）、ロッカー完備（感染対策のため一時ご利用を中止しております）。更衣室あり（パジャマに着替えず、私服での透析を推奨しています）。
1Fは個室仕様です。
2FフロアBはパーテーションを設け、プライベート空間を演出しております。
3FフロアAは車いすの患者さんに対応し、広い介助スペースを設けております。

河北総合病院の専門医と連携した合併症治療

心エコ、腹部エコー、脈波、骨密度検査を定期実施。
CT、MRI、胃カメラ、大腸カメラなどを適宜ご案内。
検査結果に応じ、総合病院の専門医定期受診から緊急対応、入院治療まで、幅広く対応可能です。

管理栄養士による食事指導

しっかり栄養!
透析がはじまると、タンパク質を適切に摂取することが大切です。ご自身のタンパク摂取量やリン摂取量がひと目でわかるビンゴ表の活用、管理栄養士推奨の栄養ドリンク販売など、栄養管理に力を入れています。

リラクゼーション

アロママッサージ、ネイルなどを提供しております。
（1F限定、有料サービスです）
透析時間を少しでも楽しく、有意義にお過ごしいただければ幸いです。
（感染対策のため一時ご利用を中止しております）

安全対策

患者カンファランス、医療安全・業務改善会議を定期的に実施。
水質管理、機器メンテナンスを積極的におこない、安全なオンラインHDF療法を提供いたします。

防災対策

東京都透析医会災害時透析医療ネットワーク区西部副ブロック長運営施設として、院内のみならず、地域の防災対策にも取り組んでおります。

様々な血液浄化療法にも対応可能

当院では超純水によるオンラインHDFを標準治療としております。
そのほか、閉塞性動脈硬化症に対するLDL吸着、炎症性腸疾患に対する顆粒球除去療法等を実施しております。

感染予防対策

厚生労働省の空気環境基準をクリア。換気を十分におこなっております。手指消毒液を随所設置。また、シーズン前にはワクチンを院内で接種いただけます。

エントランス

透析室（準個室）

待合室（ラウンジ）

透析室（6ベッドエリア）

透析室（5ベッドエリア）

介護老人保健施設 シーダ・ウォーク

https://kawakita.or.jp/suginami-area/cedar/

受付時間　9:00～17:30（※日・祝日・年末年始は除く）

ロング・ショートステイ　03-5311-6184（相談室直通）
デイケア　03-5311-6262（代表）

「住み慣れた地域で安心して生活する」

介護老人保健施設シーダ・ウォークは2004年10月に開設いたしました。シーダ（Cedar）は杉、ウォーク（Walk）はここでは並木道の意味で、もちろん「杉並」にかけた命名ではありますが、杉のように長寿な人生の並木道として、住み慣れた地域での生活を支える場でありたいという願いも込められております。

健康生活を地域で支える地域包括ケアシステムへ向けた方向性のなかで、介護老人保健施設は病院と在宅生活との橋渡しとなる中間施設として、また在宅生活を支えるショートステイや通所リハビリテーションをご提供することにより、中心的な役割をはたすことが期待されております。

シーダ・ウォークでは同じ河北医療財団に属する河北総合病院、河北リハビリテーション病院、河北ファミリークリニック南阿佐谷等との連携はもとより、地域の保健・医療・介護の連携による包括的ケアシステムの一環として、皆さまの「家庭で療養したい」「地域で生活したい」を支えていきたいと考えます。

施設長
吉田 晴彦
東京大学卒業

理念・方針

理　念

「地域の人の期待」である「住み慣れた地域で安心して生活する」ことを支援する。

個人の尊厳と復権を優先し、保健・医療・福祉の連携による継続的ケアをご利用者とともに施設機能と居宅機能として創造する。

方　針

1.「個人の尊重」・・・グループユニットケアの提供
　ご利用者の尊厳と復権を優先し、ご家族が気兼ねなく訪問できるよう全室個室、日常生活は7名のご利用者をグループとしたユニット・ケアをご提供します。
2.「継続的ケア」・・・トータル・ホーム・ヘルスケア
　在宅での生活を常に念頭に置き、医療機関および在宅サービス機関と連携した個別リハビリテーションに取り組みます。
3.「地域との交流」・・・コミュニティ・ケア
　地域での生活継続に必要なデイケア（通所リハビリテーション）・ショートステイ（短期入所療養介護）の地域在宅支援サービスを重視し、さらに地域の在宅支援サービス機関との連携を深め、ご利用者のみならず介護者であるご家族への支援にも積極的に取り組みます。また、地域との触れ合いを大切に、地域の方々の参加の機会を推進します。
4.「ケアの質の向上」・・・ケアの質の継続的改善を図る品質マネジメントの運用
　ご利用者には施設介護計画による個別ケアをご提供します。また、第三者機関による品質評価の受審を含めてケアの質の向上に努めます。
5.「地球環境」・・・環境マネジメントシステムの運用
　次世代へ引き継ぐことができる地球環境をつくっていきたいと考えております。「あたたかく やさしく 人にも 地球にも」というメッセージにはそんな思いが込められています。緑豊かな杉並を守るために、当施設では、地球にやさしい環境マネジメントシステムを運用しております。

介護老人保健施設 シーダ・ウォーク

■所在地／〒167-0034　東京都杉並区桃井3-4-9　TEL：03-5311-6262（代）　■開設日／2004年10月　■施設長／吉田　晴彦　■許可ベッド数／112床　■事業内容／●介護保険サービスにおける介護保険施設サービス（介護予防）短期入所療養介護112床（全室個室）●介護保険サービスにおける（介護予防）通所リハビリテーション（デイケア）45名／日

ロングステイ（施設入所）

快適な環境で、日常生活動作を中心としたリハビリテーションをおこない、在宅生活への復帰、在宅生活の継続を支援します。

【サービス内容】
・回復期から維持期のリハビリテーション
・在宅復帰をめざした生活リハビリテーション
・食事、入浴、排泄などの介護・看護サービス
・診察、投薬、処置の医療サービス
・娯楽等の日常サービス
・施設ケアマネジャーを中心に多職種で施設総合ケアプランを立案します

【対象】
・病状が安定しており、特別な治療を必要としない方。
・介護保険の要介護認定で、要介護1～5の認定を受けた方。

ショートステイ（短期入所）

ご自宅で生活をしている方にご利用いただける、短い期間の入所サービスです。ケアマネジャー経由でお申し込みいただきます。

【サービス内容】
・ロングステイ（施設入所）と同様のサービスをご提供
・ご自宅までの送迎サービス（送迎範囲応相談）
・居宅サービス計画書（ケアプラン）に沿った宿泊サービス

【対象】
・病状が安定しており、特別な治療を必要としない方。
・介護保険の要介護認定で、要支援1・2、要介護1～5の認定を受けた方。

デイケア（通所リハビリテーション）

心身機能の活性化につながるプログラムで、一日を楽しくお過ごしいただきます。

【サービス内容】
<6時間程度の1日コース>
・個別または集団でのプログラムにより、生活機能向上を目的としたリハビリテーション
・昼食、入浴、排泄などの介護・看護サービス
・体操、ゲームなどのレクリエーション
・ご自宅までの送迎サービス（送迎範囲応相談）

<2時間未満の短時間コース>
・昼食や入浴サービスがつかない、リハビリテーションプログラムのみのコース

【対象】
・介護保険の要介護認定で、要支援1・2、要介護1～5の認定を受けた方。

※いずれのサービスも、介護保険制度による要支援または要介護認定が必要です。

デイケア

ロビー

共用部分

共用部分

居室

3Fテラス

機能訓練室

機能訓練室

理美容室

浴室

河北健診クリニック

https://kawakita.or.jp/suginami-area/kenshin/

受付時間　9:00～17:00
（※日・祝日・年末年始は除く）

受診者のための健診体制の構築と5つの目標

河北健診クリニックでは2021年度に向けて具体的な5つの目標を定めました。

1. 新型コロナウィルス感染症対策の推進
2. 受診者に利得となる健診をおこなう
3. がんの早期診断と生活習慣病への介入をおこなう
4. 専門医やかかりつけ医と連携する
5. 健診指標の把握と活用を図る

2019年4月からは、呼吸器内科専門医を配置して専門医を交えた胸部のレントゲン読影をおこない、何らかの所見のある例については複数医師のカンファランスによる判定体制を整えました。さらにハイリスクの方や希望者には低線量胸部CT検査を推奨して、胸部エックス線検査では発見しにくい早期肺がんの発見に努めています。

胃部の検査は胃がんのリスクに応じた検査を推奨し、内視鏡検査（口腔・鼻腔）の検査枠を拡大してご希望に添えるよう配慮しています。女性の方には、乳房検査はマンモグラフィー検査だけでなく乳房超音波検査（エコー）を併用することができます。また、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウィルスの検査（HPV抗原検査）を実施しております。また婦人科検診として経膣超音波検査（エコー）を加えることにより、子宮体がんや卵巣がんの診断も可能としています。

そして、要精密検査と判定した方に対しては当クリニックでの二次検診もしくはご希望の施設での診療をすすめます。連携先として河北総合病院やご希望の専門医療機関、またかかりつけ医などを適宜紹介し、早期の受診と確かな治療につながる支援をさせていただきます。

新しい河北健診クリニックでのご受診をお待ちしております。

院長
金澤 實

慶應義塾大学卒

・日本呼吸器学会専門医
・日本呼吸器学会名誉会員
・日本結核病学会功労会員
・日本内科学会認定内科医

健診・人間ドックの目的

目的の第1は、がんの早期診断です。健康と思われる方にもがんが潜んでいることがあります。医学的エビデンス（証拠）に基づいてがんを診断し、専門施設での治療に結び付けます。

目的の第2は、生活習慣病に対する適切な介入です。あなたの健康状態を評価し、健康を増進します。メタボリック症候群、高血圧、脂質異常、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などを予防するための食事・運動・禁煙などの指導をおこないます。

当クリニックの特長

健康診断の専門機関として、高性能のCTやMRI、超音波機器などを保有し、幅広い検査を網羅しています。河北総合病院や地域の医療機関と連携しており、健診結果で緊急を要する場合には、当クリニックから直接ご連絡し、受診をおすすめする対応をしております。

乳がん・子宮がん検診は、毎日、女性医師・女性スタッフが対応しております。

河北健診クリニック

■所在地／〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-27-12 TEL：03-5377-2511（代）　■開設日／1990年6月　■院長／金澤 實　■標榜科目／内科　■施設認定／●日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定施設●日本総合健診医学会 優良総合健診施設●全日本病院協会 健保連指定日帰り人間ドック実施施設●健康評価施設査定機構 特定健診・特定保健指導優良認定施設●日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診画像認定施設

特長

幅広い検査ニーズにお応えします

■ 高性能MRI・CT装置による検査

ドイツ製の高性能MRI・CT装置による高速・高画質の撮影で診断の質を高め、頭部・頸部・胸部・腹部の疾病の早期発見に努めております。内臓脂肪CT検査のニーズにもお応えしております。

■ 胃部の検査は内視鏡検査の選択が可能

胃部の検査は、上部消化管造影（MDL・バリウム）検査だけでなく、内視鏡検査（胃カメラ）を選択できます。さらに内視鏡は、胃カメラを鼻から入れる検査の枠を拡大しました。

■ 歯科検診（デンタルチェック）

歯科医によるデンタルチェックをおこなっております。歯と口腔内の健康は、全身の健康につながっています。顕微鏡検査をおこない、口腔内に潜む歯周病やむし歯の原因となる細菌を観察し、必要な方には歯科受診をおすすめしております。

健診のアフターフォロー

■ 要精密検査の判定の方には

健診の結果、緊急を要する所見があった場合には当クリニックから直接連絡を差し上げます。受診をおすすめし、当クリニックの受診予約、河北総合病院の専門科の予約、ご希望の医療機関の紹介をいたします。

■ 当クリニックの二次検診

当クリニックを受診予約いただいた方は、当院の医師が診察し、ご説明の上でその後の受診と治療についてご相談の対応をいたします。特に胸部の肺疾患の所見については呼吸器内科専門医が診察し、当クリニックで低線量胸部CT検査による診断をおこなっております。

トピックス

■ 胸部CT外来

胸部エックス線検査では、すべての心肺疾患を正確に診断できる訳ではありません。そこで、胸部エックス線検査の結果から胸部CT検査の必要な方に受診していただくため、2019年4月より、金澤医師による胸部CT外来（専門二次検査外来）を内科診療として開始しました。（月・火・木の午後：予約制）

金澤 實 医師

河北健診クリニック院長
慶応義塾大卒

・日本呼吸器学会専門医
・日本呼吸器学会名誉会員
・日本結核病学会功労会員
・日本内科学会認定内科医

当日結果説明

ラウンジ

女性用ロッカールーム

ラウンジ

CT装置

スムーズで快適な健診

■ 半日で人間ドック受診が可能

オプション検査をお付けしても、半日で人間ドック受診が可能です。健診当日に、医師が結果をご説明いたします。

■ ゆったりと快適な時間をお過ごしいただくため

心地よい空間で健診を受けていただくため、デザインやレイアウトを工夫し、より快適にお過ごしいただくために、Free Wi-Fiのサービスを開始しました。

■ WEBでご予約できます

インターネットで24時間、健診のお申し込みが可能です。

女性にも安心

■ 女性専用のラウンジ

6階、7階には女性専用のラウンジコーナーを設けております。検査の待ち時間にご利用ください。

■ 女性医師にご相談ください

当クリニックには女性医師が毎日在籍しております。女性医師による診察をご希望の場合、ご予約時にお申し付けください。

■ 女性に優しい健診体制

女性の診察、婦人科検査、乳房検査、腹部超音波検査、心電図検査などは原則として女性スタッフが対応します。

河北家庭医療学センター

河北ファミリークリニック南阿佐谷
https://kawakita.or.jp/suginami-area/family/

河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷
https://kawakita.or.jp/suginami-area/station/

暮らしの処方箋（コミュニティ広場）
https://kawakita.or.jp/suginami-area/katei/prescription/

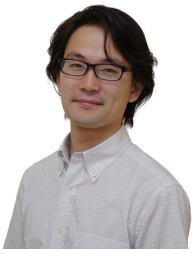
「生活のなかにある医療とケアで地域の皆さまとの絆を深める」

河北医療財団は早くから生活のなかにある医療とケアを重視し、「安心して、いつでも、何でも相談できる医療が身近にある」を地域医療の原点と考え、1981年にTHHS（Total Home Health care Services）という概念を掲げ、「地域完結型ケア」をめざして2006年4月に東京・杉並家庭医療学センターを開設しました（2014年4月に名称を河北家庭医療学センターと変更）。そして2019年3月、私たちは南阿佐ヶ谷に「河北ファミリークリニック南阿佐谷」を開院いたしました。

「河北ファミリークリニック南阿佐谷」は'家庭医'の診療所です。'家庭医'という言葉は聞きなれないかもしれませんが、外来から在宅訪問診療まで、予防接種から看取りまで、小児から高齢者まで（包括性）、皆さまのもっとも身近で（近接性）、多くの職種と協働しながら（協調性）、あなたをこれからもずっと（継続性）、責任を持って（責任性）みていく、そのための専門の教育を受けた医師の呼称です。当診療所では家庭医と、家庭医をめざして研鑽をおこなう医師が、経験豊富なスタッフと共に質の高い医療とケアを提供します。

私たちは「もっと近くへ。あなたの医療とケアを創造」を理念に掲げています。病気のみに目を向けず、一人ずつ違う「あなたにとっての健康」をともに考え、「あなたらしい医療と健康」を一緒に作り上げていきたいと願っています。

私たちは皆さまがより健康に安心して生活するための伴走者です。ぜひご家族みんなで、気軽に家庭医にご相談にいらしてください。



河北ファミリークリニック南阿佐谷
院長
塩田 正喜

秋田大学卒業
・日本プライマリ・ケア連合学会
家庭医療専門医・指導医
・日本内科学会認定内科医

理念／もっと近くへ。あなたの医療とケアを創造

医療という概念の根源に流れるもの、同時に医療より広がりをもった活動である「ケア」にあえて視点を移し、「ともに創り上げる医療とケア」を創造します。

目　的

・患者さん・ご家族・地域のニーズを重視し、医療・介護・社会福祉を統合したサービスを柱とする包括的地域ケアのモデルを創造・実現する。
・外来・在宅での医療サービスを通じて患者さん・ご家族が、自分の治療や療養、生活に関して主体的に参加し、幸福と満足を追求できるように支援しながら、医療とケアの協働チームを形成する。
・「生・老・病・死」を個人、家庭、そして地域に返し、日本の文化的な人と人との良いつながり、結びつきを復古させる。

「よりよく生をいきる」ための医療における社会的支援活動とは

患者さん・ご家族が、自分の治療・療養・生活で、幸福と満足を得るためには、患者さん・ご家族が抱える困りごとを中心に、患者さん・ご家族・支援者（医療者含）で形成されるチームが協働し、解決を図っていく構図が必要です。これを当センターでは、「ともに創り上げる医療・ケア」と考えております。人は社会的な存在であり、他者との関係性をぬきには理解できないものであるため、当センターが掲げる「ともに創り上げる」とは「患者さん」を社会の中心として関係を築き支援することを意味しております。

河北家庭医療学センター

■所在地／〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYA 6F　TEL：03-5913-7974（代）　■開設日／2006年4月
■事業内容／教育・研修部門、河北ファミリークリニック南阿佐谷、河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷、暮らしの処方箋

河北家庭医療学センターとは

河北家庭医療学センターは、家庭医療を学問として教育・追究する場でもあります。診療部は家庭医療専門医・総合診療専門医の臨床研修機関であり、看護部は東京都訪問看護教育ステーション事業を運営しており、実践に基づく知識を集積・伝達するための臨床研究・教育を積極的におこなっています。
「家庭医療学」は日本ではまだ聞きなれない言葉ですが、諸外国では「family medicine」は明確な医学の一分野として認められており、様々な研究が進んでいます。私たちはこの分野の発展がこれからの時代の地域の健康に重要な役割を果たすと確信しており、その知識を深め、また広めることで、直接的・間接的に地域へ貢献していきます。

河北ファミリークリニック南阿佐谷

診療部門

■外来診療

皆さんが抱えている健康上の問題に相談にのり、診療科にかかわらずに幅広く、診断と治療をおこないます。
「こんな相談をしてもいいの?」などと迷わず私たちにご相談ください。家庭医として、病気の治療はもとより、疾病の予防や患者さん自身によるセルフケア、生活アドバイスを含めた丁寧な診察を心がけております。

■在宅診療

通院困難となった方のご自宅に家庭医が往診し、医療とケアを可能な限り、皆さんの生活の場(地域・家庭)で提供します。在宅支援診療所(強化型)に指定されており、24時間、365日在宅療養する患者さん・ご家族への包括的な支援をおこなっています。ご自宅で療養している患者さんが、医師から隔絶することなく安心して医療を受けられるよう、ケアマネジャーや看護・介護員等支援者とともに在宅ケアをサポートします。
また、「住み慣れた場所で、人生の最期を迎えたい」と希望されている方の支援を積極的におこなっております。「在宅での緩和医療」に熟練した医師と看護師による在宅ホスピスを実践しております。

受付時間/ 8:30～17:00(※日・祝日・年末年始は除く)　外来休診日/日・祝日・年末年始　在宅診療/24時間、365日連絡対応
■所在地/166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYAビル3・4・5F　TEL:03-5356-7160(代)　■開設日/2019年3月　■院長/塩田正喜　■標榜科目/内科、小児科　■施設認定/●臨床研修協力医療機関(厚生労働省指定)●日本専門医機構認定研修医療機関(総合診療)●日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設●特定看護師研修協力機関

河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷

訪問看護

お子さまからお年寄りまで、年齢や健康・医療のレベルを問わずに、療養上必要なケアや医療的処置・情報の提供や指導などをご自宅でおこないます。
病院とは違い、生活の面から捉えたその人に必要な医療やケアをおこなっております。

訪問リハビリテーション

かかりつけ医の指示の下、病気やけが、老化などにより、在宅生活上になんらかの支障をきたしている方々の生活の場に理学療法士等が訪問しリハビリテーションをおこないます。ご本人の身体機能や介護状況などの生活環境を総合的にとらえて、その人らしく安全で安楽な在宅生活が続けられるようにリハビリテーションをおこないご指導いたします。

退院・退所の支援と調整

不安は誰もが持つものです。それでも、患者さんの「おうちに帰りたい」、ご家族の「連れて帰りたい」の気持ちを大切に、病院や施設の関係者と連携し、自宅療養に向けた支援や調整をおこないます。

【看護】
・患者さん、ご家族が自宅で大切にしたいこと、医療に望むことの確認
・病状や生活の開始に向けた留意点の整理
・ケアマネジャーやヘルパーなど支援者との共有と事前調整
・退院(所)前カンファランスの実施、参画　など

【リハビリテーション】
・家で生活するための日常動作の練習や指導
・福祉用具の選定　など

在宅緩和ケア

■自宅での看取りについて

患者さん、ご家族の「自宅で最期を迎えたい」という希望に応えるべく、在宅緩和ケアの支援体制を整えております。患者さんの大切な時間、ご家族との時間を穏やかに最期まで安心できる居心地の良い場所で過ごしていただくために。

【看護】
・痛みの評価と症状コントロール
・ケアの方法や工夫
・利用できるサービスの説明と調整
・支援者(多職種)との連携・協働
・看取りの過程について事前説明　など

【リハビリテーション】
・リラクゼーション
・効率的な動作方法の提案　など

受付時間 / 9:00～17:00 (土曜日:9:00～12:00)(※日・祝日・年末年始は除く)　24時間、365日連絡対応体制
■所在地/166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYAビル6F　TEL:03-5913-7977(代)　■開設日1994年2月　■管理者/船浪 紀子　■事業概要/指定訪問看護事業所、指定介護予防訪問看護事業所、生活保護法指定医療機関、自立支援医療指定医療機関、被爆者一般疾病医療機関■施設認定/●東京都訪問看護教育ステーション●聖路加国際大学看護学部実習施設●三育学院大学看護学部実習施設●東京工科大学医療保健学部看護学科実習施設●早稲田速記医療福祉専門学校看護科実習施設

暮らしの処方箋(コミュニティ広場)

地域の皆さまが、杉並の地で健康で豊かな暮らしを続けるために人とのつながり、地域とのつながりをつくるきっかけを提供する空間(コミュニティ広場)です。地域で健康的なつながりをめざして活動している、グループ、団体、企業などに場所の提供をおこない、地域の子どもから高齢者までが集うコミュニティ広場として機能します。地域の人とのつながりを通して、こころとからだを元気にし、社会的にも健康になるお手伝いをしております。

利用日:ビルメンテナンスによる休館日以外の全日　利用時間:平日10:00～21:00・土日祝10:00～21:00
■所在地/166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYAビル8F　TEL:03-5913-9214(代)　■開設日/2019年3月　■事業概要/貸しスペース

河北居宅介護支援事業所南阿佐谷

河北居宅介護支援事業所南阿佐谷

https://kawakita.or.jp/suginami-area/kyotaku/

基本方針

・利用者の人権、自立性、自己決定を尊重し、十分な情報提供と説明をおこないます。
・利用者本位で公正、中立、公平なサービスの提供に努めます。
・関係機関と連携し、保健・医療・福祉が統合されたサービスを提供します。
・個人の秘密は固く守ります。
・専門性のある援助者として研鑽に励みます。
・要望等利用者の声を真摯に受け止め、迅速に対応します。

主な取り組みやサービス

住民の皆さま一人ひとりが、疾患や障害を負っても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、法人の特色である医療・介護・福祉などと連携を取り在宅での生活を支えていきます。

【担当地域】　杉並区全域

河北居宅介護支援事業所南阿佐谷

■所在地／〒166-0004　東京都杉並区阿佐谷南1-16-8　ISM ASAGAYAビル6階
TEL.03-5913-7038

杉並区委託事業　地域包括支援センター

ケア24阿佐谷／ケア24松ノ木

https://kawakita.or.jp/suginami-area/care24/

特長

・ケア24は、杉並区より運営を受託している高齢者の総合相談窓口です。
・保健師、看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなど、多職種が連携して高齢者への総合的な相談、支援をおこなっております。
・高齢者を地域で支えるネットワークづくりを進めております。
・要支援1、2と認定された方の相談、介護予防サービスと介護予防・生活支援サービスのケアプランを作成しております。

ケア24阿佐谷

ケア24松ノ木

主な取り組みやサービス

・介護保険制度の説明や介護保険の申請・更新の受付
・高齢者、介護者に関する相談や杉並区の保健福祉、介護予防、生活支援などの案内、申請の受付
・福祉用具（車いす、オムツなど）の展示や紹介
・ご家族の方たちを対象とした「家族介護教室」の開催

【ケア24阿佐谷 担当地域】
阿佐谷北1～6丁目、阿佐谷南2丁目、下井草1丁目、本天沼1丁目
【ケア24松ノ木 担当地域】
松ノ木1～3丁目、成田東1・3・4丁目、大宮2丁目、阿佐谷南1丁目

ケア24阿佐谷

■所在地／〒166-0001　東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 欅ビルディングB館1階
TEL.03-3339-1588

ケア24松ノ木

■所在地／〒166-0014　東京都杉並区松ノ木3-3-4
TEL.03-3318-8530

提携施設

医療法人社団 三成会 河北前田病院

http://maeda-hp.or.jp

特長

・耐震補強工事を実施し、東京都耐震マークの交付を受けております。自家発電機は約3日程度持続できる自家発電機を具備しております。
・画像診断（X線TV装置、骨塩量測定装置）
・提携施設として、転院などの体制を整えております。
・長期にわたるリハビリテーションや療養入院をおこなう施設として、患者さんが快適で安心できるよう努めております。（主な症状での入院対応）
・頻回な吸引等医療処置やIVH、胃ろう、酸素吸引が必要な方。
・難病をお持ちの方。
・要介護度が高い方。
・医療福祉相談　毎日実施。

リハビリテーション訓練室

理念・基本方針

理　念

尊厳ある生を全うする

基本方針

1. 患者さんの権利と納得を尊重します。
2. 医学的根拠のある医療を提供する為日々研鑽に努めます。
3. 安全の確保、院内感染防止、医療事故防止に万全を尽くします。
4. 他の医療機関、福祉施設、行政等と連携しケアを行います。

1934年4月前田幸雄が診療所を開設し、1966年10月医療法人社団三成会を設立。2009年4月理事長前田正雄が退任し、河北博文が理事長に就任。河北医療財団の提携病院となる。2012年4月医療法人社団三成会河北前田病院に改称。

医療法人社団 三成会 河北前田病院

■所在地／〒167-0031　東京都杉並区本天沼1-2-1　TEL.03-3330-0384　■開設日／1934年4月　■院長／森　正樹　■許可病床数／115床　■標榜科目／内科・リハビリテーション科　■施設認定／日本医療機能評価機構認定（療養病院）　■介護保険に関する届出事項／居宅介護支援事業所・訪問リハビリテーション　■外来／受付時間／9：00～11：30・13：00～16：30　内科／月・火・水・木・金　リハビリテーション科／月・水・金

多摩事業部

https://kawakita.or.jp/aisafetynet/

医療・介護のトータルケア「あいセーフティネット」

多摩ニュータウンにおいて、天本病院をはじめ、介護老人保健施設、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、グループホーム、小規模多機能施設など21の事業所で構成される「あいセーフティネット」として医療・介護をご提供しています。
私たちの事業所は多摩市内と稲城市平尾にあります。病気や障害を持っても住みなれた地域で安心して生活が続けられるように医療・介護をトータルケアサービスとしてチーム体制で取り組んでおります。
また、地域にある高次医療機関や関係機関とも連携をとり、どんな状況においてもお応えしております。命を支えるということは、その方の尊厳を守り、自己実現をめざす生活を支えることです。日頃から、そしていざという時も「あいセーフティネット」と頼りにされるよう、患者さんやご利用者、そしてご家族の思いを尊重し個別性を重視した対応ができる組織として存在し続けてまいります。

社会医療法人 河北医療財団
副理事長／
多摩事業部 事業部長
明石 のぞみ

聖マリアンナ医科大学卒業
・日本内科学会認定内科医
・日本老年医学会老年病専門医
・日本リハビリテーション医学会認定臨床医

特長／あいセーフティネットの理念・方針

「あいセーフティネット」とは

「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせることを実現する」ためのサービス体制です。法人内の事業所のみならず、地域の関係機関とも連携して「あいセーフティネット」の構築を進めております。

理　念

信頼と安心の創造

方　針

1. 保健・医療・福祉を核として、利用者最適のサービスを目指します。
2. いつでも（24時間365日）利用可能なサービスを目指します。
3. 地域のサービス機関とも連携し、チームで様々な問題解決を目指します。
4. 働きがいのある組織を維持し、かつ健全経営を目指します。

施設

天本病院［179床］
1980年に多摩市貝取に設立した個人病院を前身とした高齢者医療専門病院です。地域の在宅療養を支援するために、認知症の早期診断・早期治療、在宅復帰のためのリハビリテーションに力を注ぎ、在宅療養中で体調を崩されたときの入院を積極的に受け入れております。

あい介護老人保健施設［150床］
「入所」「ショートステイ」「通所リハビリ（デイケア）」「訪問リハビリ」のサービスを提供。多職種連携により在宅復帰・在宅療養を支援し「超強化型」老健の要件を満たしております。

【機能強化型在宅療養支援診療所（外来・訪問）】
あいクリニック
あいクリニック中沢
あいクリニック平尾

【訪問看護・訪問リハビリ】
あい訪問看護ステーション
あい訪問看護ステーション中沢
あい訪問看護ステーション平尾

【居宅介護支援事業所】
ケアプランセンターあいクリニック
ケアプランセンターあいクリニック中沢
ケアプランセンターあいクリニック平尾

【グループホーム（認知症対応型共同生活介護）】
あいグループホームどんぐり
あいグループホーム天の川

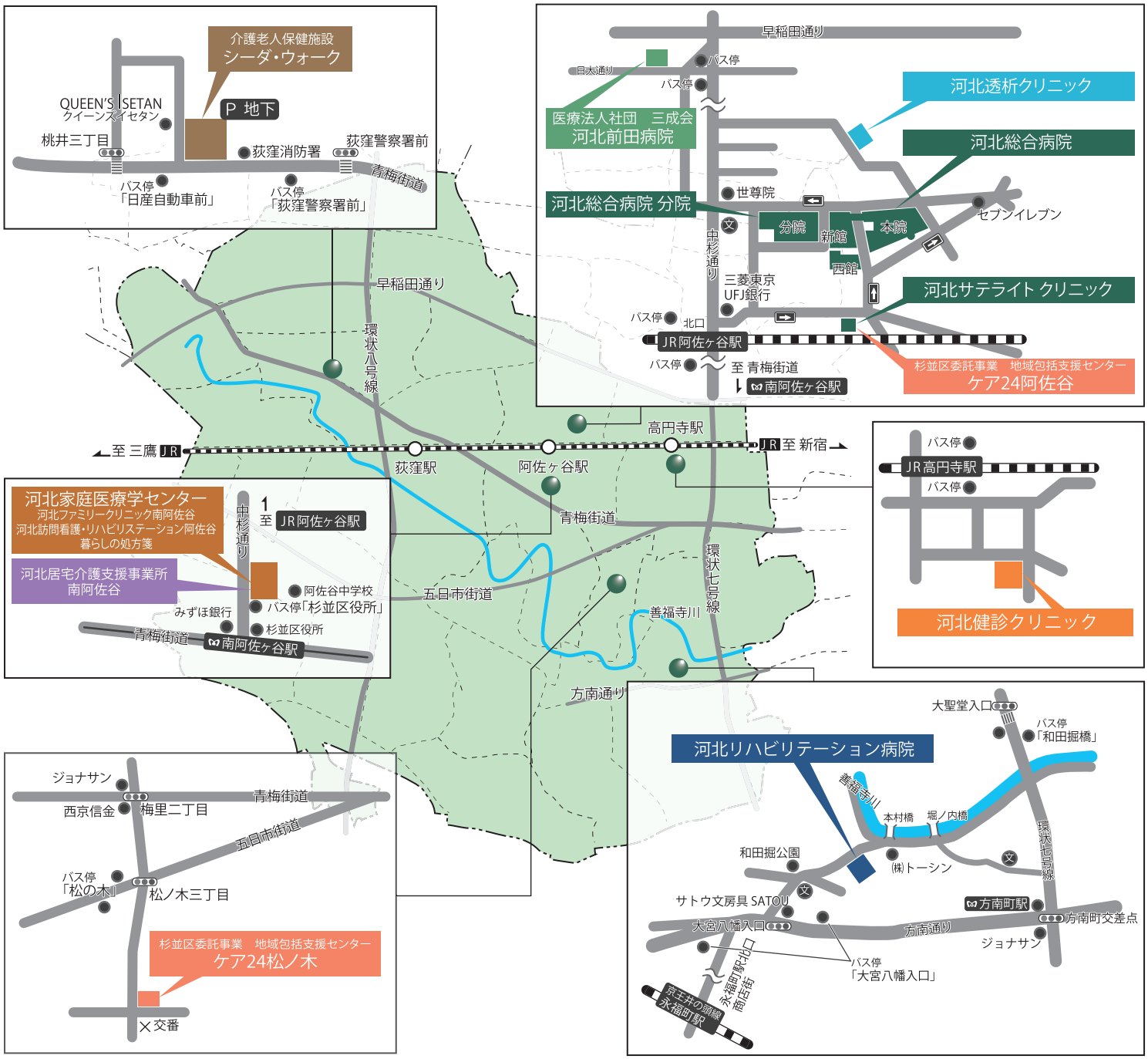
【看護小規模多機能型居宅介護】
あい看護小規模多機能施設ほたる

【小規模多機能型居宅介護】
あい小規模多機能施設かりん
あい小規模多機能施設おきな（サテライト）
あい小規模多機能施設こもれび

【デイサービス（通所介護）】
あいフィットネスサロンさくら

【多摩市委託事業】
桜ヶ丘いきいき元気センター
多摩市中部地域包括支援センター
多摩市中部高齢者見守り相談窓口

杉並エリア



河北総合病院	〒166-0001	東京都杉並区阿佐谷北1-7-3 TEL.03-3339-2121
河北総合病院 分院	〒166-0001	東京都杉並区阿佐谷北1-6-20 TEL.03-3339-0606
河北サテライト クリニック	〒166-0001	東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 TEL.03-3339-0808
河北リハビリテーション病院	〒166-0013	東京都杉並区堀ノ内1-9-27 TEL.03-5307-5151
介護老人保健施設 シーダ・ウォーク	〒166-0034	東京都杉並区桃井3-4-9 TEL.03-5311-6262
河北健診クリニック	〒166-0003	東京都杉並区高円寺4-27-12 三井住友銀行高円寺ビル5階（受付） TEL.03-5377-2511
河北透析クリニック	〒166-0001	東京都杉並区阿佐谷北1-18-9 TEL.03-3336-2500

河北家庭医療学センター	〒166-0004	東京都杉並区阿佐谷南1-16-8 ISM ASAGAYA TEL.03-5913-7974（6階）
河北ファミリークリニック南阿佐谷		TEL.03-5356-7160（3〜5階）
河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷		TEL.03-5913-7977（6階）
暮らしの処方箋		TEL.03-5913-9214（8階）
河北居宅介護支援事業所 南阿佐谷	〒166-0004	東京都杉並区阿佐谷1-16-8 ISM ASAGAYA（6階） TEL.03-5913-7038

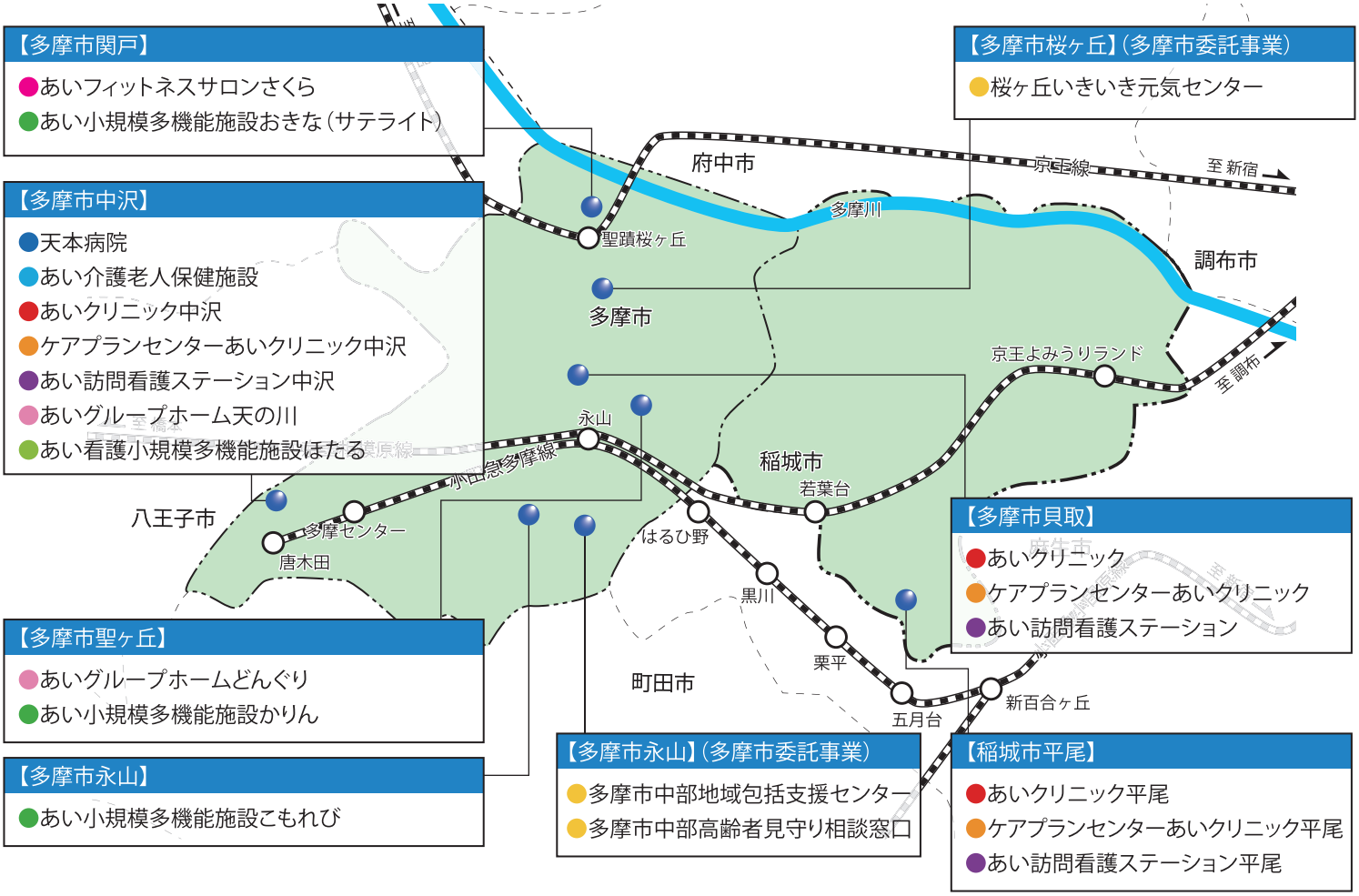
【杉並区委託事業】

地域包括支援センター ケア24阿佐谷	〒166-0001	東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 欅ビルディングB館1階 TEL.03-3339-1588
地域包括支援センター ケア24松ノ木	〒166-0014	東京都杉並区松ノ木3-3-4 TEL.03-3318-8530

【提携施設】

医療法人社団 三成会 河北前田病院	〒167-0031	東京都杉並区本天沼1-2-1 TEL.03-3330-0384

多摩・稲城エリア



【 多摩市中沢 】

天本病院	〒206-0036	東京都多摩市中沢2-5-1
	TEL.042-310-0333	
あい介護老人保健施設	〒206-0036	東京都多摩市中沢1-17-38
	TEL.042-374-7111	
あいクリニック中沢 ケアプランセンター あいクリニック中沢 あい訪問看護ステーション 中沢	〒206-0036	東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま～る中沢A棟1階
	TEL.	042-311-2820 042-311-0933 042-311-2822
あいグループホーム天の川	〒206-0036	東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま～る中沢B棟2階
	TEL.042-311-0176	
あい看護小規模多機能 施設ほたる	〒206-0036	東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま～る中沢B棟3階
	TEL.042-357-1870	

【 多摩市聖ヶ丘 】

あいグループホーム どんぐり	〒206-0022	東京都多摩市聖ヶ丘2-21-2 ゆいま～る聖ヶ丘C棟1階
	TEL.042-357-3801	
あい小規模多機能施設 かりん	〒206-0022	東京都多摩市聖ヶ丘2-20-6 ゆいま～る聖ヶ丘B棟1階
	TEL.042-357-4101	

【 多摩市永山 】

（多摩市委託事業） 多摩市中部地域 包括支援センター	〒206-0025	東京都多摩市永山4-2-5-105
	TEL. 042-375-0017	
多摩市中部高齢者 見守り相談窓口	TEL. 042-357-8877	
あい小規模多機能施設 こもれび	〒206-0025	東京都多摩市永山3-12-1 多摩市西永山福祉施設
	TEL.042-400-1071	

【 多摩市関戸 】

あいフィットネスサロン さくら	〒206-0011	東京都多摩市関戸1-2-11 スマイラス聖蹟桜ヶ丘1階
あい小規模多機能施設 おきな（サテライト）	TEL.	042-311-5445 042-311-5447

【 多摩市桜ヶ丘 】（多摩市委託事業）

桜ヶ丘いきいき 元気センター	〒206-0013	東京都多摩市桜ヶ丘2-1-1
	TEL.042-311-7300	

【 多摩市貝取 】

あいクリニック ケアプランセンター あいクリニック あい訪問看護ステーション	〒206-0012	東京都多摩市貝取1431-3 あい在宅複合施設
	TEL.	042-375-9581 042-375-9598 042-371-6888

【 稲城市平尾 】

あいクリニック平尾 ケアプランセンター あいクリニック平尾 あい訪問看護ステーション 平尾	〒206-0823	東京都稲城市平尾3-7-4 コーシャハイム平尾1階
	TEL.	042-350-5062 042-318-1826 042-350-8615

社会医療法人 河北医療財団

https://kawakita.or.jp

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
TEL：03-3339-2121（代）